



平成 30 年 5 月 10 日 (木)

4月は、少し緊張していた子どもたちも、少しずつ新しい生活に慣れ、毎日たくさん笑顔が見られるようになりました。

子どもたちは、戸外遊びが好きで、園庭に出る準備を始めると、目をキラキラさせて嬉しそうにしています。先日、園庭のこいのぼりに「おーい」と手を振る子どもの姿をみて、とても可愛らしく思いました。また、アリやだんご虫などの生き物にも興味を持ち始めているようです。そんな子どもたちの新しい発見や、興味の広がりを大切にしていこうと思います。



リズムあそび

月に1回リズムミックスをしています。ピアノの音を聴いて動物の真似をしたり、季節の曲に合わせて鈴を鳴らしたりします。子どもたちは、楽器にとても関心があり、鈴は、普段の朝の集まりの際にも取り入れています。鈴を鳴らしながら、歌を口ずさんだり身体を揺らしたり、それぞれ楽しんでいるようです。



～絵本の紹介～

すみれ組の子どもたちは絵本が大好きです。その中でも、この絵本は今人気の1冊になっています。食べ物やカニ、犬などの登場人物が、海辺を走る電車に「のせてくださーい」と声をかけます。保育士が「のせてくださーい」とセリフを言うと「はーい」と手をあげて返事をする子どもたち。最後には「バイバイ」と手を振っています。

がたん ごとん
がたん ごとん
ざぶん ざぶん



内科検診があります。

5月14日(月)

12:00～

松井園医の検診があります。

なるべくお休みされないようにお願いします。



すみれ組担任：崎野・有蘭・船石



平成30年5月10日(木)

4月26日は、到津の森公園に遠足に行きました。おうちの方や友だちと手を繋いで目的地まで歩いている足取りを見ていると、子どもたちの成長を感じました。「かめがきゃべつ食べよったね」「ママがお弁当作ってくれた」等保育士や友だちと楽しそうにお話しています。おうちの方と、歩きながらゆっくりとお話することもでき、私達も充実した1日となりました。



1年間、子どもたちの成長を共に見守り、喜び合いながら過ごしていきたいと思っています。

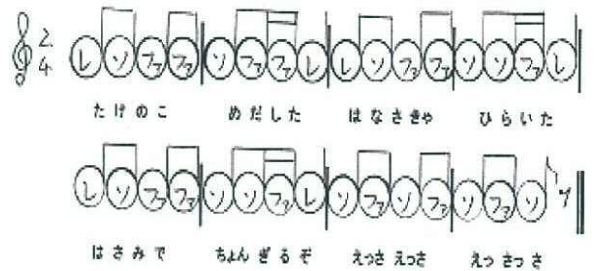
「今日来てないね」

引越して転園になった、SくんとTくんが最後の登園の日「OOくんとふたば保育園で遊べるの今日で最後なんだよ」と子どもたちに話しても、その時は理解できていないようでした。最近、朝の集まりで「Sくん、今日来てないね」とゆりちゃんが言うと、「Tくんも来てないよ」と数名の子どもが気づきました。保育士は、2人の存在が子どもたちの中に残っていたことに心を打たれました。2人の様子を分かりやすく説明すると、真剣に聞いていました。そして最後に一言、「泣いてないよ！」とはなちゃんが……。よく泣いていたTくんの事を思い出したようでした。子どもたちのことが愛おしく感じるひと時でした。

♪たけのこ芽出した♪



子どもたちが好きなわらべうた遊びです。歌も覚えて保育士と一緒に表現しています。“えっさえっさ えっさっさ”でじゃんけんをするのですが、グー、チョキ、パー好きなように出し、全員“勝ち”です。「やった～」とみんなで喜んでいきますよ。おうちでも遊んでみてくださいね。



お母さん大好き

5月13日は、母の日です。「みんなが大好きなお母さんに、こんなプレゼントをしようと思うんだけど」と保育士が絵を見せると「わあー」と目を輝かせていました。シールを貼ったり、ペンで描いたりしながら「これ、ママにあげる」と渡すのを楽しみにしているようでした。

ちゅうりっぷぐみ担任：中村、唐木、草場、尾崎



平成30年5月10日(木)

「HELLOー♪」

4月からダミンダ先生に英語を教わっています。最初は緊張している様子でしたが、ダミンダ先生が英語の歌を歌ったり、踊ってみせると、子どもたちはすっかりなじんで笑顔になっていました。

給食時に、「やみーやみー」とおいしいという表現を英語で発音していました。これからもどんな単語が聞けるか楽しみです。

「粘土遊び♪」

こすもす組になって子どもたちが楽しみにしていることがありました。それは、新しい教材を使うことでした。クレヨンやはさみなどのお道具に名前を書いてもらった子どもたちは「ねえ、粘土いつする？」と聞いていました。保育士が「食べ物作ってみよう」とテーマを出すと、「せんせいみてードーナツ。たくさん作ってドーナツ屋さんするんよ」とドーナツ屋さんができたり、小さく丸めてイチゴを作ってケーキを作ったりしていました。本当に食べなくなるような食べ物ができあがっていました。



新しいお友だちの紹介



5月からこすもす組に新しい友だちができました。

M・Sくん です。

一緒に
たくさん遊ぼうね。



「子どもたちが大好きな絵本」

「もったいない」というテーマの絵本をよみました。子どもたちは大好きで、絵本が出てくると「やったー」といいながら集まってきた「もったいないことしてないかい」と絵本を見ながら言っている子どもたちです。

手を洗う時に水がでたままになっていると「もったいないよね」と子どもたちは口にしながらとめようとする等、絵本による効果が子どもたちのよい習慣づけとなりました。





平成30年5月10日(木) 発行

園庭の草や木が新緑に覆われ、心地よい風が吹く初夏が訪れました。子どもたちは、身体全体に薫風を受けながら園庭を走り回ったり、顔を出してきたダンゴ虫を捕まえたりしています。

園庭に出るとまずみんなが駆け寄るのは、さくらんぼの木です。花が散り、実がつき始めたころから、赤くなる日を待ち遠しそうに見ていました。5月に入りいっきに赤くなったさくらんぼの実を見て「やっとさくらんぼができたね!」「甘い? すっぱい?」と友だち同士で話していました。柵に登ったり滑り台から手をのばしたりしながら実っているさくらんぼにふれる子どもや、さくらんぼの実をとってベランダに植えようとする子どももいました。一本のさくらんぼの木から、たくさんの子どもの想像の夢が実ったようです。

さくらんぼの実を見ていた、ましろくんが葉っぱに青虫がついていることに気づきみんなに教えてくれました。「ちょうちょになるのかな?」「何色のちょうちょだと思う?」と青虫が成長することを待ち遠しく思っています。



運動会! 楽しみ!

「位置について、よーい、ドン!」と声をする方を見てみると、芝生の周りを走ろうとするれいなちゃんと、保育士のようにかけ声をかけるななちゃんです。2人で運動会ごっこをしていました。その声を聞いた友だちも集まり、次第にリレーが始まっていました。一人ずつ走り、次に走る子どもはスタートラインの前で待つというルールが自然とつくりされており、ハアハアと息が切れるまで繰り返して走っていました。

運動会に対する意欲とやる気が高まっている子どもたちです。

今年の運動会のテーマは「ねずみのよめいり」です。どんな成長した姿を見せてくれるか楽しみです。



内科健診のお知らせ

5月14日(月)

12:00~

松井医院の先生に
来ていただき、健診があります。

4歳児担任: 西島・井上



発行：平成30年5月10日（木）

わたしたちのきらきらもりもり畑！！

晴れ渡った空に新緑の青葉が輝き、すがすがしさを感じる季節となりました。爽やかな風に気持ちよさそうに葉を揺らしている、この木々に誘われるかのように、子どもたちも、「このお花は何か？図鑑で調べてみよう！」「ぼかぼかして、気持ちが良いから、虫もたくさん出てきてる」「あー気持ちが良いな。」と自然と身近な動植物に触れたり、芝生の上に寝転んだりして、この時期ならではの季節を感じています。

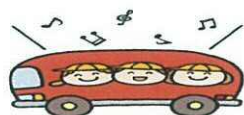
園庭の横にある、キンカンの木の周りで虫を探していたりんちゃんが、きらきらもりもり畑にたくさん雑草が生えていることに気がつきました。「大変！畑にたくさん雑草が生えてるから、このままじゃ野菜が育てられないよ。」「前のたんぼぼさんから畑のこともお願いされてたのに…」「雑草って、土の栄養とってしまふから抜かないと！」とみんなに話しかけて、雑草抜きが始まりました。時折汗をぬぐいながらも、雑草抜きも子どもたちにとっては新鮮なようで「この根っこは真っ直ぐで固い！」「この雑草はなかなか抜けない！誰か手伝って！」とまるで“大きなかぶ”のお話のように手を取り合いながら、あっという間に雑草を抜いてしまいました。子どもたちは、きれいになった畑を見ると「前のたんぼぼさんは大根とか、トマトとかたくさん野菜を育ててたよね。」「僕たちは何を育てる？」「キュウリとトマトと…パイナップルとかは？」「トウモロコシはどう？トウモロコシって土の中にできるのかな？」と疑問を膨らませ「今度からは私たちのきらきらもりもり畑になるから、たんぼぼぐみでお世話を頑張ろう！」と目を輝かせ話していました。野菜のお世話や収穫、クッキングなど食育を通し、実際に育てながら日々感じたり、実体験を通して、育ててほしいと思います。

角笛シルエット劇場に行きます

5月21日（月）、戸畑市民会館に角笛シルエット劇場に行きます。

終了後、保育園で給食を食べますので、お弁当はいりません。鑑賞代とバス代が必要となりますので、また後日、お知らせします。

子どもたちは「影絵でお話ってどんな風にするんだろう？」「あ！手でキツネの形とかつくったら影ができるから、そうやってお話するんじゃない？」と楽しみにしています。



こんなのどうかな？

今年の運動会のお話は「ネズミの嫁入り」です。「前の運動会で、金太郎とさるかに合戦とかしたよね！」「今度はどんな運動会になるかな？」と期待を膨らませています。年長児になって初めての大きな行事に、「どうしたらいいかな…」と悩む姿も見られますが、「いろんな動物が出てきても面白そうじゃない？」「どんなお祝いにしたら喜ぶかな？」とアイデアが出ています。子どもたちの思いの詰まった「ネズミの嫁入り」の物語を楽しみにしててください。